

未来志向ワークショップ

～脱炭素と持続可能なエネルギー～

For Students

カーボンニュートラル、脱炭素、GX（グリーントランスフォーメーション）...

聞いたことはあるけれど、どんなことをしたらいいんだろう？

自分が学んでいることや研究活動から、社会をより良くするヒントがあるかもしれません。札幌市の取組を学び、一緒に脱炭素社会を考えてみませんか。

8/28

(水)

<KICK OFF> 講演 & 交流会

日時：8月28日（水）16:00～17:00

※終了後、交流会を予定

会場：北海道大学総合博物館 知の交流ホール

★8/28のみの参加も可能

9/3

(火)

<SITE VISIT>

日時：9月3日（火）9:30～17:00

※北大8:30出発～18時頃到着予定

会場：北ガス石狩LNG基地・北ガス石狩発電所他

9/4

(水)

<CO-CREATION WORK SHOP>

日時：9月4日（水）9:00～17:00

会場：北海道大学 学術交流会館 第一会議室

対象：北海道大学 大学院生

定員：8/28 30名

9/3,4 15名

参加費用：無料

詳細情報：右のQRコードより
ご参照ください

申込締切：2024年 8月26日(月)

本ワークショップはEXEX博士人材フェローシップの「共創教育プログラム」（1.0ポイント）となります。ポイント付与のためには、全ての日程の参加が必須となります。



8/28 KICK OFF MEETING
SPECIAL GUEST SPEAKER

池上 京 / K Ikegami
Planet Savers 株式会社
Founder & CEO

新卒で独立行政法人国際協力機構（JICA）に入構し中東のインフラ開発、政策支援に従事。ケンブリッジ大学でのMBA（経営学修士号）取得を経て、ソフトバンク・ロボティクスに入社しAIロボットの海外展開に取り組む。その後株式会社MIRAlingを設立し、リーダー教育を2,000名以上の学生に提供（M&A Exit済み）。気候変動を食い止めたい、インパクトあるスタートアップを立ち上げたいという想いで、2023年にPlanet Saversを設立し現職。京都大学法学部卒、公共政策修士。

共催：北海道大学（教養深化プログラム、サステナビリティ推進機構 SDGs事業推進本部、広報・社会連携本部 社会連携部門）
札幌市 環境局

協力：北海道ガス株式会社

運営支援：株式会社Tsumuto

求む！札幌市の環境について一緒に考えてくれる北大院生！！

札幌市では、2050年に市内の温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするゼロカーボンシティの実現を掲げていますが、その実現には市民や事業者の脱炭素アクションの促進が重要な取組です。

大学院生の皆さんは、日々専門知識を深め、研究に励んでいますね。その活動の中に、今まで誰も思いつかなかったような未来の環境をより良くするアイデアがあるかも！

「一見、気候変動や環境問題と関係ないような」様々な専門性とバックグラウンドをもつ「学生のみなさんの知を融合させることで」新しいアプローチやアクションを一緒に考えていきたいです。

ユニークで実現可能な提案があれば、札幌市の取組に取り入れたり、一緒に活動したりすることも考えられます。あなたと札幌の未来をより良くする新しい一歩を踏み出しませんか？

サイトビジット

石狩LNG基地は北海道の重要なエネルギー供給インフラです。サイトビジットでは、普段はなかなか見ることができない、「石狩LNG基地」と「北ガス石狩発電所」を見学します。基地内をめぐるとある見学ツアーでは、広大な敷地内をバスで回り、巨大タンクや発電所を間近で見たり、現地の方のレクチャーでエネルギーについて楽しく学べます。2024年秋に運転開始予定の北ガス石狩風力発電所についてもお話を伺う予定です。



石狩LNG基地

本基地では、都市ガスの原料となるLNG (Liquefied Natural Gas) をオーストラリア等から輸入・貯蔵し、都市ガスを製造して、パイプラインを通じて道央圏へ供給しています。またローリー車や専用タンカー（内航船）によるLNG出荷設備も備え、道内の各都市ガス事業者やLNGサテライト供給先に向けたLNG出荷を行っています。

北ガス石狩発電所

同敷地内にある北ガス石狩発電所は、CGS (Co-Generation System) で7,800kW×12台：一般家庭約30万世帯分に「北ガスの電気」として電力を供給しています。同時に発生した排熱は周辺海域に排出せず、石狩LNG基地にてLNGを液体から気体にする際やロードヒーティングに使用しているため、総合エネルギー効率の向上と環境負荷低減につながっています。



北ガス石狩風力発電所（2024年9月開始予定）



(完成イメージ)

北ガス石狩風力発電所は「FIP (Feed-in Premium) 制度」を活用し、非化石価値を持つ再エネ電源として、北ガスの電力事業において最大限活用していきます。さらに、風況に応じて変化する風力発電の調整力として、石狩LNG基地構内の北ガス石狩発電所にあるガスエンジン（12台、93,600kW）を活用します。風力発電の出力変動に対応しながら、複数のガスエンジンを機動的かつ柔軟に運転させることで、安定性・環境性・経済性の高い発電方式の実現を目指します。なお、ガスエンジンを調整電源とする風力発電の出力変動調整モデルは、北海道内初の取り組みとなります。